

2023年4月

5月24日まで
返送厳守

返送先 JGFA事務局

FAX : 03-6280-3952

MAIL : japan@jgfa.or.jp

JGFA 審査員養成/更新
IGFA ルールクイズ(A.共通問題)

氏名 _____ 会員No _____ 所属 _____

住所 〒 _____

TEL. _____ FAX. _____

私はこの共通問題のほか、次のジャンルの問題に回答し、審査員資格の更新、あるいは新規取得を申請します。

B.ビッグゲームトロリング C.ルアー、淡水、岸(磯)釣り、沖釣り D.フライ

(上記のいずれかひとつに必ず○をお付けください)

A 共通問題

回答欄 (○×式)

1. 魚がベイトまたはルアーにストライクしたら、アングラーは他からの助けを借りることなく魚をフックにかけ、ファイトし、取り込まなければならない。

2. 岸釣りまたはウェーディングの釣りをしているアングラーの取り込みを助ける人は、リーダーを掴む、ネットで掬う、あるいはギャフを掛ける際、アングラーからロッド2本分以内の距離にいななければならない。

3. 足場の高い栈橋から、記録申請したい魚を釣り上げたい。その場合は取り込みに使用するネットの全長が2.5mでも使用できる。

4. ロッドが最低寸法より短くなったり、その性能をひどく減じるような方法で折れた場合でもこれ以外はIGFAルールで魚をキャッチできれば記録申請できる。

5. リーダーの長さとはルアー、フック、または他の用具を含めた全体の長さとして定義されるため、テンビンの長さも含まれる。

問題は、別に6.~ 10.の5問あります。

それぞれの釣りジャンルから、1ジャンルだけ選び、回答し、共通問題とあわせてご提出ください。

2023年4月

5月24日まで
で返送厳守

返送先 JGFA事務局 FAX: 03-6280-3952
MAIL: japan@jgfa.or.jp

JGFA 審査員養成/更新
IGFA ルールクイズ(B.ビッグゲームトローリング)

問 題

回答欄 (○×式)

6. 37Kg テストのダブルラインをいちいち編み直すのは面倒なので、予め別のライン(同じ強度)で4mのダブルラインを作っておき、スイベルで交換が容易にできるようにした。
7. キャスティングロッドをトローリングロッドに改造するためロッドティップを150cm、バットを50cmの長さに切断して作った。
8. 魚とのファイト中にハンドルを巻く腕が疲れたのもう一方の手でラインを手繰ってリールにラインを巻き取った。
9. カジキの取り込みに際し魚体を傷つけないために、ギャフの代わりに1.9mの棒に50cm長の荷造り用ポリエステル平テープを裂いた束を装着してビルに絡めてキャッチした。トータルの長さが240cmでギャフの長さ規定内なので問題無い。
10. 魚がルアーにストライクしてラインを引き出している状態で、クルーがロッドをロッドホルダーから引き抜いてアングラーに手渡した。アングラーはその後自らドラグを上げてフックアップしてファイトに入ったからルールに則っている。

別に共通問題の1.~5.があります。そちらにも回答し、この回答とあわせて

ご提出ください。

2023年4月

5月24日まで
返送厳守

返送先 JGFA事務局

FAX : 03-6280-3952

MAIL : japan@jgfa.or.jp

JGFA 審査員養成/更新

IGFA ルールクイズ(C. ルアー、淡水、岸(磯)釣り、沖釣り)

問 題

回答欄 (○×式)

6. ジグヘッドリグのハリ先のないワーム取り付け部分に、ワーム(ソフトベイト)をセットした場合、魚が掛かったときに自由に振れ動くなら、ギャングフックはルアーに差し込んだり、本体に固定したりすることができる。



7. 6kg(12lb)ラインを使用し、ある河川でヤマメを釣って記録申請した。その時使用したリーダーは、フックの全長を含めて4.57mであった。

8. ラインを手繰って魚を取り込む行為や手釣りは禁止されているが、ボートから釣る場合は、リーダーが同乗者の手に掴めるところにくるか、リーダーの端がロッドティップまで巻き上げられた時、一人または複数の人がリーダーを持つことができる。

9. アシストフックとは、モノフィラメント、マルチフィラメント、ワイヤーなどの「リード」を介してルアーに接続されるフックのことであるが、ギャングフックもリードを介してアシストフックとして使用すればルール上OKである。

10. ルアーフィッシングで記録申請する場合、必ずしもルアーを送付する必要はないが、ルアーが写った写真もしくはスケッチを添付しなければならない。

別に共通問題の1.~5.があります。そちらにも回答し、この回答とあわせて

ご提出ください。

2023年4月

5月24日まで

返送厳守

返送先 JGFA事務局 FAX : 03-6280-3952

JGFA 審査員養成/更新
IGFA ルールクイズ(D. フライフィッシング)

氏名 _____ 会員No _____ 所属 _____
住所 _____ TEL. _____ FAX. _____

問 題

回答欄 (O×式)

6. フライフィッシングの記録申請のためには、ギヤのつたいいわゆる「マルチプライヤーリール」を使うことができない。

7. クラスティペットの長さ規定に、上限はない。

8. ボートからの釣りで、ティーザーを曳き魚を寄せて来る場合、エンジンのギヤをニュートラルに入れてキャストしておきさえすれば、その後でギヤを入れてフライを動かしても良い。

9. フライロッドは、市販品であれば5フィート台のものも使うことができる。

10. 浅場のウェーディング釣りで、足下まで寄せてきた魚を、フィッシングガイドがボートで背後の浅場に追い込んでランディングした。このようにして釣りあげた魚の記録申請はできない。

別に共通問題の 1. ~5. があります。そちらにも回答し、この回答とあわせてご提出ください。